

令和6年度事業計画書

特定非営利活動法人かさおか島づくり海社

1 事業実施の方針

笠岡諸島を中心として、不特定多数の市民・団体の活動支援に関する事業等を行い、笠岡諸島の自立的発展を促進し、生活の安定及び福祉の向上に寄与することを目的に次の事業を実施する。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支出見込額(千円) |
|--|--|--------|-------------------|----------|-------------------------|-----------|
| (1) 子どもの健全育成及び介護保険法に基づく第1号事業及び地域密着型サービスに係る事業 | | | | | | |
| 北木小学校スクールバス運行及び給食物資運搬等事業 | 笠岡市からの委託により金風呂地区以外に在住の児童等の通学及び学校教育活動時における運行支援及び給食物資の運搬 | 通年 | 北木島 | 3名 | 中学生2名 小学生2名 幼稚園1名 | 1,802 |
| 青少年海洋体験学習事業 | 石切りの杜を拠点に島の特性を生かした研修 | 7月～10月 | 真鍋島 | 3名 | 不特定多数の青少年 約100人 | 232 |
| 通所介護事業 | 介護保険法適用者を対象に食事提供・入浴の介護並びに機能訓練の実施 | 通年 | 白石島 北木島 真鍋島 | 30名 | 不特定多数の要支援要介護者 約70人 | 44,450 |
| 青少年の島(梶子島)管理運営事業 | 岡山県より指定管理を受け、施設の維持・管理業務の遂行 | 通年 | 梶子島 | 5名 | 不特定多数の青少年等 約200人 | 1,070 |
| 岡山県離島魅力発信・交流促進事業 | 岡山県の補助を受け体験学習を通じて島への関心等を醸成すると共に魅力や課題等を提案し島の活性化 | 6月～12月 | 北木島 | 5名 | 県内の不特定多数の小中学生 約600人 | 2,800 |
| (2) IT技術活用等による情報発信や特産品開発等に関する事業 | | | | | | |
| PR事業 | 各島販売・道の駅・しまのこし等で笠岡諸島の特産品をPR、販売 | 通年 | 市内一円 | 5名 | 不特定多数の一般 約10,000人 | 4,510 |
| 灰干し事業 | 笠岡諸島近海で採れた小魚を三宅島の火山灰で加工処理し販売 | 通年 | 北木島 | 3名 | 不特定多数の一般 約200人 | 834 |
| (3) 社会教育、文化、スポーツ、人権擁護等に関する事業 | | | | | | |
| 石切りの杜管理運営事業 | 笠岡市より指定管理を受け、施設の維持・管理等の業務遂行 | 通年 | 北木島 | 6名 | 不特定多数の一般等 約1,500人 | 11,505 |
| (4) 都市・漁村交流や安全・安心のまちづくり等に関する事業 | | | | | | |
| 公共交通空白地有償運送事業 | 乗用車・グリスロを使用しての島内有償運送 | 通年 | 北木島 真鍋島 | 5名 | 不特定多数の一般 約3,000人 | 4,351 |
| 空き家対策事業 | 笠岡諸島等の空き家所有者と島暮らし希望者(島の力)とのマッチング | 通年 | 笠岡諸島 住吉 | 3名 | 不特定多数の一般 約15人 | 1,184 |
| 笠岡諸島交流センター活性化事業 | 笠岡市からの委託により島内外の交流機会の推進 | 通年 | 笠岡諸島交流センター | 10名 | 不特定多数の一般 約100,000人 | 4,611 |
| 駐車場事業 | 伏越港・住吉港に笠岡諸島を往来する人のための駐車場運営 | 通年 | 伏越港・住吉港周辺 | 5名 | 不特定多数の一般 約60人 | 1,177 |
| 下浦海水浴場運営事業 | 下浦海水浴場と海の家「海ほたるの」運営 | 7月～9月 | 北木島 | 3名 | 不特定多数の一般 約500人 | 495 |
| 公営ポスター撤去維持管理及び送迎事業 | 笠岡市より市長、市議選のポスター撤去及び管理業務を依頼され運営、及び真鍋島送迎等 | 4月、10月 | 笠岡諸島 真鍋島 | 10名 | 笠岡諸島有権者 約1,200人 | 372 |
| 備中地域みらいづくり支援事業 | 島内外の有志により、困りごとをビジネスという視点でプランを作り上げるプロジェクト | 4月～2月 | 北木島 | 20名 | 県内外の一般 約200人 | 1,382 |